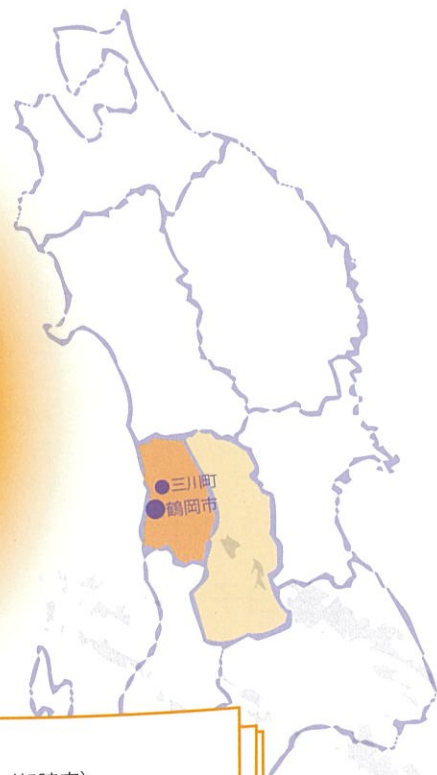


茨木のり子 冬の集い 2023

茨木のり子
庄内
心のふるさと



お話 戸村雅子さん

(「茨木のり子 六月の会」事務局長
著書『茨木のり子への恋文』)

演題「茨木のり子と庄内」

独唱 保多由子さん(メゾ・ソプラノ)

わたしが一番きれいだったとき
一人は賑やか
木の実
道しるべ
ふたたびは
レンコート

ピアノ伴奏 峯岸道子さん

朗読 松島 邦さん(朗読家)

エッセイ「東北弁」

詩「栃 餅」

会員～のり子さんの詩に出会う会

詩「六月」、「櫓」 他

合唱 会員～茨木のり子の歌うたい隊
「母の家」

お母様のご実家は山形県庄内地方の三川町、夫安信氏は同鶴岡市出身、
ご夫妻のお墓は鶴岡市浄禅寺。庄内ゆかりの方々をゲストにお招きして、
茨木さんのふるさとへの思いを深めます。お誘いあわせて、ご来場ください！

2023年2月18日(土) 13時30分開会
コール田無 地階 多目的ホール (13時開場)

定員 165人(※要事前申込)
参加費 500円

●感染症拡大防止のため、マスク着用、手指消毒、ご自宅での事前検温の
ご協力をお願いします。体調不良の場合はご来場をご遠慮ください。

主催：茨木のり子の家を残したい会

連絡先：牧子(まきこ) Tel. 042-467-3854

E-mail: mmarea0912maymine@gmail.com

●メールの場合は、受付済の返信メールをいたしますのでご確認ください。西武新宿線田無駅下車 北口徒歩約7分



出演者プロフィール

戸村雅子(とむら・まさこ)さん

1941年、山形県生まれ。県立山形西高等学校、同志社大学文学部文化学科国文専攻卒業後、山形県立高校教諭(国語)となる。

1972年、家庭文庫を開き、子どもの読書活動を開始。1990年頃より茨木のり子の詩の研究を始める。

茨木のり子を訪ねた1998年より交流を深める。

2002年3月、退職。現在、「茨木のり子 六月の会」事務局長。鶴岡市在住。

著書『茨木のり子への恋文』(2016年刊行、同事務局発行)

保多由子(やすだ・よしこ)さん

県立鶴岡南高等学校、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。バロックから現代までの幅広いレパートリーによるソロリサイタル、交響曲・ミサ曲・オラトリオなどの独唱、創作オペラ主役出演、現代日本の作曲家作品の初演、放送出演など、多彩な演奏活動を展開する。

ソロアルバム「武満徹songs～見えないこども」「シンプルソング」「保多由子sings寺嶋陸也～ふたたびは」はいずれもレコード芸術はじめメディア各誌で高く評価される。

長年にわたる教育研究職を退いた近年は、ピアノによる弾き歌いや琵琶歌などでも新境地を拓く。

峯岸道子(みねぎし・みちこ)さん

国立音楽大学音楽学部器楽学科(ピアノ専攻)卒業。ピアノを有賀恵、助川陽子、伴奏法を金井信の各氏に師事。在学中、第11回ピアノ教育連盟オーディションにおいて奨励賞受賞。

卒業後、大学院歌曲クラスや様々なコンクールにて伴奏を務める。

現在、声楽、合唱の伴奏やピアノ指導等幅広く活動している。

松島 邦(まつしま・くに)さん

山形県鶴岡市出身。県立鶴岡南高等学校、早稲田大学文学部演劇専修卒。イベント関係の仕事に従事後、朗読の道へ。朗読家。NPO日本朗読文化協会会員。朗読講師・司会・講演等。又小学校・高齢者施設のボランティアも。

「一葉の恋」「たけくらべ 十三夜」を坂本有子氏と製作・出演。「茨木のり子詩の世界19～22」。

平岩弓枝「ちっちゃなみさん」山本周五郎「その木戸を通して」岸恵子「巴里の空はあかね雲」等

同郷の俳優菅原司氏と郷里の作家藤沢周平作品を年1回公演し10年。「験試し」「小川の辺」他。

★ 茨木のり子 六月の会

2007年6月30日、山形県鶴岡市における追悼公演『茨木のり子の世界』開催を契機に発足。同年10月より会報「茨木のり子 六月の会」を隔月発行(2022年12月で92号)、毎年、講演会や朗読会、音楽会など開催しています。2010年の「道しるべ」～茨木のり子の詩による歌曲集」初演コンサートでは、保多由子さん(メゾ・ソプラノ)、寺嶋陸也さん(作曲・ピアノ)が出演されています。会の目的として「茨木のり子の詩と生涯を、庄内、鶴岡との関わりの中で理解し、深める。茨木のり子の心のふるさとである庄内から「茨木のり子」を発信する」ことを掲げています。

代表:黒羽根 洋司

★ 茨木のり子の家を残したい会

茨木さんが1958年に保谷町(当時、現西東京市)東伏見に建て、1975年に夫三浦安信氏逝去後も住み続け、2006年に亡くなるまで48年間詩人の生活の場であり、創作の場であった家を、地域の文化財として残したいという思いで没後10年の2016年12月に5人で発足。2019年から本格的に活動を始め、茨木さん没後15年の2021年には、記念事業として、柳沢公民館において2つの講演会、パネル展示、こもれびホールにおいて音楽と朗読の集いを開催しました。また、市の文化祭では会員創作朗読劇を上演し、市民フェスタには活動紹介パネル、公民館の文化祭は朗読、合唱、展示、ワークショップ等に参加するなど地域と繋がる中で、会の趣旨に賛同して下さる仲間を増やしています。活動は、年4回発行の会報「茨木のり子手帖」(2022年12月で14号)、茨木邸の草刈りたいボランティア部、合唱部会「茨木のり子の歌うたい隊」、朗読部会「のり子さんの詩に出会う会」、「茨木邸記念館構想研究プロジェクトチーム」などに広がり、会員は現在230人を超えています。

代表:小田桐 孝子